

私たちの手で支えあいの地域をつくる

▷問い合わせ 高齢者支援係
(☎223-3536)

認知症が原因で行方不明となった人の早期発見のために
—防災メール・まもるくんへの登録をお願いします—



認知症が原因と思われる行方不明の現状

認知症または認知症の疑いにより、警察に行方不明者届が出された人の数は年々増え続けており、令和2年には1万7565人もの方が行方不明となっていて、多くの場合は無事に保護されていますが、行方不明中に事件・事故などで亡くなる人や、未だ発見されていない人もいます。

早期発見の必要性

認知症が原因で行方不明になった人は、行方不明になっている期間が長くなるほど、移動範囲が広がって捜索が難しくなります。また、事件・事故に巻き込まれる危険も高くなります。

無事に発見・保護するためには、行方不明になってからすみやかに捜索を開始することが大切です。また、捜索の際は、多くの人々の目で探すことで発見の可能性が高まります。

防災メール・まもるくんの活用

「防災メール・まもるくん」は、福岡県が運営するメール配信サービスです。メールアドレスを登録しておけば、行方不明事案が発生した際に、県内の市町村が発信する捜索への協力依頼メールが皆さんに配信されます。

配信されるメールには、行方不明者の氏名、年齢、性別、住所、行方不明になった時刻、服装、身体的特徴、認知症の有無、徘徊歴の有無、不明時の様子、よく通っていた場所、本人の写真、発見時の連絡先などが記載されています。特徴が一致する人を見かけた際には、メールに記載の連絡先か、110番に通報してください。



災害時にも役立ちます

「防災メール・まもるくん」は、行方不明者情報だけでなく、防災に関する情報や地域の安全情報などのお知らせメールも配信する大変便利なサービスです。地震や台風などの災害に備える意味でも、「防災メール・まもるくん」への登録を検討してください。

登録方法

「防災メール・まもるくん」のホームページから登録できます。

- インターネットでホームページを検索する場合＝「防災メール・まもるくん」で検索
- スマホなどで利用する場合＝右の2次元バーコードから読み取り、接続



△ホームページ

なお、認知症の家族などが行方不明になる恐れがある場合は、あらかじめ高齢者支援係に相談してください。万が一の場合に備え、情報の事前登録もできます。

帰る家が分からずさまよう本人や、無事を祈りながら帰宅を待つ家族は不安な気持ちでいっぱいです。行方不明になった人をすぐに発見・保護できる安心な町になるよう、皆さん協力してください。

中学生の 「税についての作文」 表彰式

昨年12月6日、芦屋中学校で中学生の「税についての作文」入賞作品表彰式がありました。

これは、国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が全国の中学生を対象に税についての正しい知識と理解を深めてもらうために、租税教育の一環として作文を募集したものです。

芦屋町では、芦屋町長賞を受賞した芦屋中学校3年生の吉永麻緒さんが表彰されました。



「税についての作文」 芦屋町長賞受賞作文を紹介します

税金に支えられる私たち

今では、税を払い生活するのが当たり前になってきている私たち。しかし、税でさまざまなものが値上がりし、不満を抱く人も多いだろう。では、税がなくなるとどうなるのか。私はそのことについて調べてみた。

私たちは、どこか目的地に行く際、道路や橋を通行するのが普通である。そして、それが壊れてしまえば修理するのが自然だろう。しかし、税がなくなるとどうだろう。修理する費用がないため、放置されてしまう可能性があるのだ。また、修理したとしてもその修理した人から通行料金の支払いを求められる可能性もあるのだ。これだと町を歩くのですら恐怖を感じてしまう。少なくとも、ただ歩いてだけお金を払わなければならないという毎日が続くのは、私はいやだ。

次に、医療や年金、介護、子育てなどの私たちの暮らしを支えるサービスがなくなってしまうことだ。これがどういふことか例を用

いると、私が高熱を出したときや、それで病院で診察してもらい、薬をもらった。普通、この時点で診察費と薬代を払って帰宅だが、税がなくなるとその費用がとて高額になるのだ。普段私たちのこのような費用は、3割負担で7割は税金から出されている。税がなくなつた場合、全額を支払うこととなり、高額を支払わなければならないことになるのだ。

なんと、私たちが困ったときに頼る警察にも変化がある。身の周りで危険なことがあったら警察に通報するのが最も安全だろう。しかし、この通報することさえも費用がかかってしまうのだ。ほかにも逮捕や捜査、相談でさえも毎回支払わなければいけなくなる可能性がある。これだと警察に頼りづらくなり、事件やトラブルが放置されたり、増えたりするだろうと私は考えた。

今、私たちが当たり前のように通っている学校にも大きな変化がある。私たちが知識を身につける

ために払っている教育費を親や家族が多く負担しなければいけなくなるのだ。税があるのとないのでは、その金額の差は大きく変わる。学校に行くのでさえ金銭面で苦しくなってしまう。つまり、お金の関係で学校に行けなくなってしまう子どもが増えるということだ。

ここまででは私が調べたことで、それ以上に変化するようなことは多いだろう。しかし、どれも共通することがある。それは、今まで当たり前だったことが当たり前じゃなくなるのだ。税があるかないかで私たちの生活は大きく変わってしまう。ここまででわかっただろう。私たちは、税に生活を支えられているのだ。税を払うことで、身の周りのことが当たり前となってきている。それがどれだけありがたく、幸福なことか、私たちはこのことについて、深く考えなければならぬ。

▽問い合わせ 課税係
(☎) 2233-3534

芦屋中学校 3年 吉永 麻緒

